

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年11月2日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づいて、私から補足説明をさせていただきます。

1ページ目については、特に補足はございません。

2ページ目上段、11月6日火曜日、(4)の第647回の審査会合についてでございます。この日の審査会合では、審査の対象は2件予定されてございます。

まず、1件目といたしまして、四国電力・伊方原子力発電所の保安規定の変更についての審査が予定されております。格納容器の機器ハッチ運用変更についての保安規定の変更の申請、こちらが出されておまして、これについての審査が行われる予定でございます。

次に、2件目といたしまして、東北電力・女川発電所2号機についての審査ということが予定されております。こちらは防潮堤の構造成立性についてのコメント回答が行われる予定でございます。

次に、その下、11月7日水曜日、(5)第245回の核燃料施設等に係る審査会合が予定されております。議題は、記載がございます3点が予定されております。

まず、議題1といたしまして、日本原燃の廃棄物埋設施設の許可に係る審査が予定されております。こちらは2回目の審査会合ということで、想定される自然事象や人為事象の選定などについての議論が行われる見込みということでございます。

次に、議題の2番目といたしまして、原子力研究開発機構大洗研究所の廃棄物管理施設、こちらの設工認に係る審査についての議論が予定されております。こちらは、設工認について、補正の申請を待っている状況ということでございますが、作業の状況について事業者側から説明を聞き、確認をするという予定でございます。

また、議題3といたしまして、ウラン加工事業者の新規制基準適合性に係る審査の進捗状況についての状況確認が予定されております。ウラン加工事業者として、5つの事業所について許可を経て設工認の審査が進められております。こちらの作業の状況全般について、確認を行うという予定でございます。

次に、その下、11月8日木曜日、(7)第648回の審査会合についてでございます。こち

らは特定重大事故等対処施設に係る審査のため、非公開とさせていただきます。審査の対象は、関西電力・美浜発電所3号機の特重施設の許可についての審査が予定されております。

次に、3ページ目、(8)、こちらは、日程といたしましては同じく11月8日木曜日でございます。第6回震源を特定せず策定する地震動に関する検討チーム、こちらの開催が12時半から予定されております。

こちらの内容、議題でございますが、記載のとおり、まず、これまでの会合の議論の整理を行った上で、対象地震動記録の検討状況についてということで議論が行われる予定でございます。90の地震についてデータを集めるという作業を進めてきておりますが、集めました地震動について、整理をいたしまして報告をし、今後の標準応答スペクトルの策定に向けた検討・議論が行われるという予定でございます。

次に、(9)第1回周辺モニタリング設備の現状聴取に係る会合、これが同日午後3時から開催される予定でございます。こちらは10月24日の委員会定例会におきまして、原子力施設の周辺モニタリング設備について議論が行われまして、電源確保やデータ伝送の多様性について、現状と今後の対応を事業者から聞くということになったところでございます。これを踏まえて、モニタリング設備の現状について事業者から説明をお聞きするという予定でございます。

次に、その下、11月9日金曜日、(10)第4回新規制要件に関する事業者意見の聴取に係る会合、こちらが午前中に開催される予定でございます。こちらの議題でございますが、記載のとおり、原子炉圧力容器の溶接継手の非破壊試験の試験程度に関する事業者からの説明聴取が予定されております。こちらは10月17日の原子力規制委員会において本件についての検討状況について報告が行われ、そこでの方針に従って検討が進められているところでございます。議題にございます試験程度に関して、事業者から説明を聴取するという予定でございます。

最後に、3ページ目の一番下、3.、委員の現地視察の予定が1件新しく入っております。

11月9日金曜日に東京電力福島第一原子力発電所の現状についての現地視察、こちらを田中委員ほかが行う予定でございます。こちらは表題のとおり、1Fの現状全般について確認を行うということでございます。

私からの説明は以上でございます。

< 質疑応答 >

司会 それでは、皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。御質問ございますか。デミズさん。
記者 読売新聞のデミズといたします。

一番最後の田中委員の東電福島第一の視察のことですが、このタイミングになった理由など、背景のようなものがあればお願いします。

大熊総務課長 東京電力福島第一原子力発電所、こちらについては、いわゆる1F検討会も開催し、廃炉に向けた作業の状況、現地での対応の状況を常にしっかり監視をしていくということで、我々、対応しているところでございます。そうした一環として、今回予定がとれましたので、特に担当されている田中委員を初め、関係者で現地を確認に行くということでもあります。

記者 3号機でいろいろなトラブルがありましたけれども、ああいったことの聞き取りというか、そういったものも予定されていますか。

大熊総務課長 3号機のオペレーティングフロアについても、現地を確認する予定でございます。

記者 分かりました。ありがとうございます。

司会 ほかがございますか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

- 了 -